

学術講演会のご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、重症筋無力症や多発性硬化症などの自己免疫性神経疾患は、幅広い病態を示すことから、神経内科医だけでなく臨床内科医も診療に携わる疾患でございます。この度、神経内科医として数多くの診療に携わってきた近畿大学 神経内科 宮本勝一先生を迎え、講演会を開催する運びとなりました。ご多忙中とは存じますが、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。

演題名

「臨床内科医に必要な免疫性神経疾患の知識 ～早期発見に心がけること～」

座長

大阪府内科医会 会長 **福田 正博**

講師

宮本 勝一 先生
近畿大学医学部 神経内科 准教授

取得単位

日本医師会生涯教育講座 (2単位) カリキュラムコード (15 19 35) 申請中
日本臨床内科医会指定研修講座 (5単位) 申請中
大阪府内科医会推薦医認定単位 (C群2単位)

講演内容

重症筋無力症、多発性硬化症、視神経脊髄炎、HTLV-1関連脊髄症、ギラン・バレー症候群、フィッシャー症候群、慢性炎症性多発神経炎、多発性運動ニューロパチー、多発性筋炎などの免疫性神経疾患は、難治性疾患が多い神経疾患のなかでも治療ができる疾患が多く、早期診断と早期治療によって予後を大幅に改善させることができます。これらの疾患の多くは、病態に自己抗体が関与しており、疾患特異的な自己抗体の検出によって確定診断することが可能です。また、一部の自己抗体は、抗体価と疾患活動性との相関がみられるため、治療効果の判定にも有用です。重症筋無力症の抗アセチルコリン受容体 (AChR) 抗体、抗筋特異的チロシンキナーゼ (MuSK) 抗体、視神経脊髄炎の抗アクアポリン4 (AQP4) 抗体、ギラン・バレー症候群の抗グングリオシド抗体、多発性筋炎の抗JO-1抗体などの自己抗体は保険収載されているため、全国どここの施設からも検査依頼が可能です。

本講演会では、代表的な神経免疫疾患の特徴を提示し、どのような場合に検査を依頼すればいいのか、どのような場合に専門医に紹介すればいいのか、実際の症例呈示も交えて、理想的な病診連携についてお話をさせていただきます。

開催日時・アクセス

2015年8月22日(土)
15:00～16:30

阪急ターミナルスクエア・17 「ふじ」の間
〒530-0012 大阪市北区芝田 1-1-4 阪急ターミナルビル 17F
TEL : 06-6373-5790

参加費：無料

共催

一般社団法人 大阪府内科医会
株式会社エス アール エル
株式会社コスミックコーポレーション

